経営者必見! 実は危ないセキュリティーリスクのおハナシ

TOPICS 不正アクセスは前年より倍増! 中小企業が狙われている?

経済的利益を狙う 不正アクセスが急増中!

インターネットサービス事業者でのユーザー情報漏えいやSNS での不正ログイン事件が報道を賑わすなど、ますます身近な脅威になりつつある不正アクセス問題。
件数が急増しているのに加えて目的も変化しつつあり、単なるいたずらや嫌がらせではなく、不正送金や商品の不正購入など経済的利益を狙ったケースが増えてきています。

中小企業も危ない! 「標的型攻撃」の怖さ

最近増えているのが、特定の企業を狙って情報を抜き取ろうとする「標的型攻撃」です。通常の業務メールと区別がつかないよう巧妙化されたメール攻撃や、ウイルス対策ソフトで検出されない専用プログラムの使用など、発見されにくいのが問題。政府機関や大企業への攻撃の足掛かりに、その取引先ある中小企業が狙われるケースも増えています。

不正アクセス行為の発生状況

不正アクセス行為後の行為	2011年	2012年	2013年
インターネットバンキングの不正送金	188件	95件	1,325件
インターネットショッピングの不正購入	172件	223件	911件
オンラインゲーム、コミュニティサイトの不正操作	358件	662件	379件
ホームページの改ざん・消去	28件	42件	107件
情報の不正入手	74件	99件	92件
インターネットオークションの不正操作	22件	29件	36件
不正ファイルの蔵置	4件	1件	20件
その他	3件	100件	81件

出典:内閣官房情報セキュリティセンター(NISC)「サイバーセキュリティ政策に係る年次報告(2013年度)」

CASE あなたの会社にも!? 中小企業のセキュリティー事故

対策ソフトを使っているのに ウイルスが侵入?!

こまめなアプリケーションの更新はセキュリティーの常識。でも、実行しない社員がいたら?

ネットバンキングで 不正送金が発生!?

不正なWEBサイトへのアクセスをブロックしたい。必要なのは何?

流行りの「標的型攻撃」に 遭った!?

添付ファイルの危険性を検出したいが暗号化されていると対策ソフトもお手上げ? 巧妙な手口に対抗するには?

複合機から 情報が流出!?

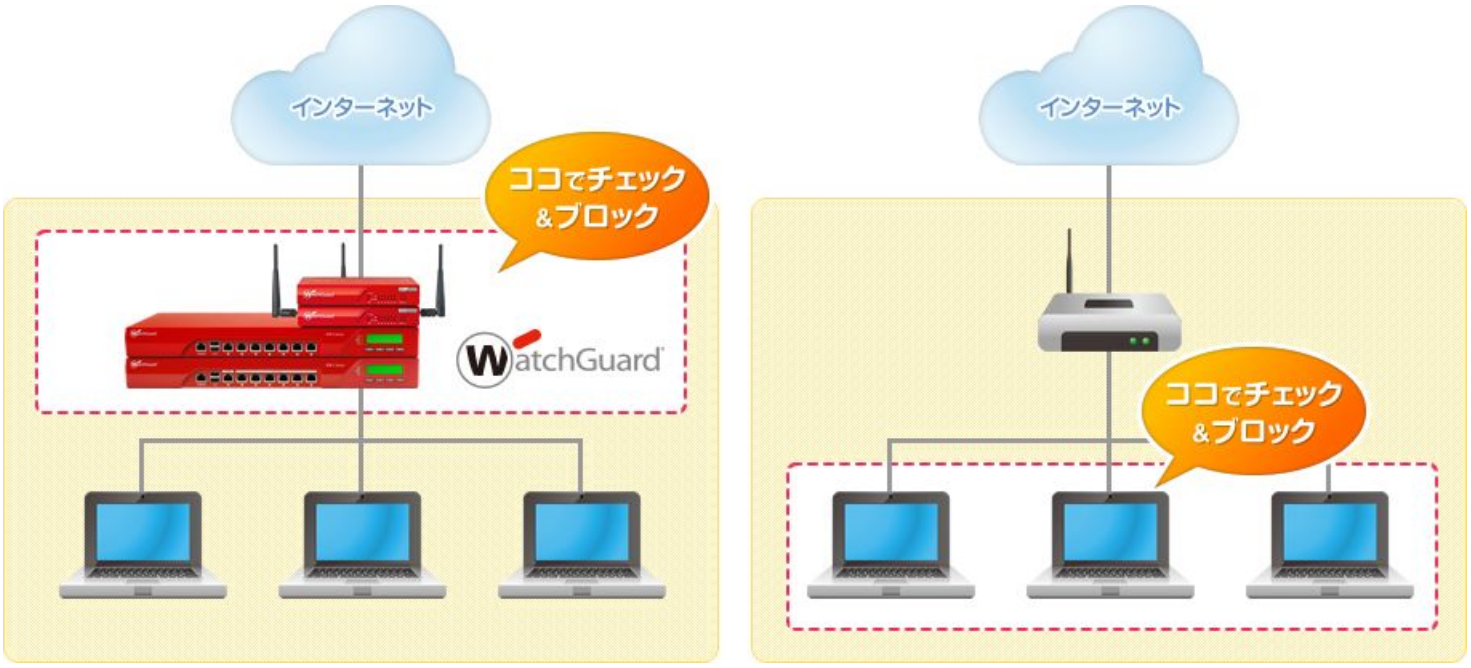
複合機にもファイアウォールの導入が必要な時代。でもPCと違ってやり方が分からない!

ネットワークを見張る赤い箱「WatchGuard XTM」なら、中小企業が抱えるセキュリティーリスクを 1台 で解決します

20150508

「WatchGuard XTM」はオールインワン。1台で企業のセキュリティーが万全に

社員まかせでなく、入り口で一括して守ります



ウイルス対策ソフトやファイアウォールの導入、アプリケーションの更新などを個別の端末で行っていると、端末を管理している社員が更新を怠るなど適切な管理が行われないことも。「WatchGuard XTM」なら、社内ネットワークの入り口に設置することで、全端末を一括管理。PC だけでなく複合機のセキュリティーも守ります。

さまざまなセキュリティー事故をまとめて予防できます

情報漏えいの原因と対策

外部からの攻撃	対策	ファイヤーウォール導入
PCウイルス	対策	ウイルス対策ソフト導入
不正サイト閲覧	対策	ウェブフィルタリングソフト導入
スパイウェア	対策	スパイウェア対策ソフト導入

ネットワークを通じた攻撃には、外部からの不正アクセスによる攻撃、ウイルス、不正サイトを通じたスパイウェアの侵入など多岐にわたり、本来はそれぞれに応じた重層的な対策を立てる必要があります。このような対策を１台ですべてまかなえるのが「WatchGuard XTM」。UTM(Unified Threat Management:統合脅威管理)と呼ばれるサービスです。

お問い合せは、
京セラドキュメントソリューションズジャパン正規代理店
有限会社ワールド・エンビジョン
http://www.world-envision.jp

20150508